

## 浄化槽使用での注意点について

「殺菌・抗菌・除菌・消臭・カビ防止・ぬめり取り」を謳う洗剤や洗浄剤は、なるべく使用をお控えいただくか、使用量・使用回数を少なくしてご利用ください。

下記を成分に含む商品は非常に強力で、浄化槽内の菌・カビ・微生物を殺したり、働きを弱めるため、浄化槽で水をキレイにすることが出来ず、支障をきたす恐れがありますので、なるべくお控えください。

- 次亜塩素酸ナトリウム
- 塩酸
- イソシアヌル酸
- 過酸化水素
- 過炭酸塩（ナトリウム）
- 陽イオン界面活性剤
- 金属イオン類
- 抗菌剤

・ これらが成分として配合されている商品は主に、●カビ除去剤 ●漂白剤（台所/洗濯） ●洗濯

洗剤 ●柔軟剤 ●除菌スプレー ●パイプ洗浄剤 ●洗濯槽洗浄剤 ●トイレの常時

設置型の洗剤 ●髪染め（ヘアカラー） ●ヘアーリンス ●乳児用除菌剤 ●食洗器用

粉洗剤 ●ぬめり取り 等に含まれております。

### カビ除去剤や漂白剤（台所/洗濯）の使用にあたり注意点（塩素系/酸素系漂白剤）

ご家庭において、頑固なカビや汚れは強力なカビ除去剤や漂白剤を使用しないと落ちない物もありますので、下記の点にご留意いただき、使用をお願いいたします。

- ・ カビ除去剤の使用後は、不要なタオルやキッチンペーパーなどでふき取るか、使用後に大量の水を流し、殺菌成分を薄めてください。
- ・ 一度にカビ除去剤や漂白剤を使用するのではなく、10 日前後、日数をあけて少しずつ使用（掃除）をしましょう。
- ・ 掃除後は1週間に1度、消毒用アルコールを霧吹きで吹き付ければ、消毒とカビの発生を防げる場合があります。

---

## カビ除去剤や漂白剤などの影響で、浄化不足となってしまった例

---

浄化槽の能力を発揮できれば、浄化処理された水はとてもキレイになります。法定点検等では水の透視度（透明度）を目安にして、浄化処理出来ているかの判断を行っております。

- ・透視度（透明度）の数値が高いほど、キレイな水です。

**透視度 30度（cm）以上の水**



**透視度 10度（cm）の水**



---

## 水洗トイレでの注意点

---

### 市販のトイレットペーパー以外は流さないでください

市販の JIS 規格のトイレットペーパーであれば、再生紙でも問題なくご使用いただけますが、その他のティッシュペーパー・便座拭きシート・お尻拭きシート・オムツ・タバコの吸い殻・動物(ペット)のし尿・ペット用トイレ砂・ゴミなどは流さないでください。

便座拭きシートやお尻拭きシート、ペット用トイレ砂の種類によっては、トイレにそのまま流せると記載のある商品もございますが、除菌成分が菌・カビ・微生物を殺したり、浄化槽内に詰まりが生じたりする恐れがありますので、燃えるゴミとして処分していただいた方が無難です。

また、トイレットペーパーを使いすぎますと、汚泥の量が短い期間で多くなり、清掃の間隔を狭めることになります。

### トイレの常時設置型（置くだけ）の洗剤は問題ないですか？

常に洗剤を排水している状態となりますので、浄化槽内の菌・カビ・微生物を殺してしまい、異臭や浄化不良の原因となる場合があります。また洗剤に含まれる色素によって着色され、点検・検査のときなどに水質悪化と間違えられたり、香料と槽内の臭気が混じって臭気の問題を起こすこともありますので、ご使用を控えて頂くようお願い致します。

---

## 台所での注意点

---

### 使い古しの食用油や、フライパン・お皿に残った油について

油は浄化槽の菌・微生物には手に負えない代物です。フライパンや鍋、お皿などに付いた調理油も拭き取ってからの洗い物をお願いします。

また油は、浄化槽内に付着して目詰まりをおこすなど、機能低下の原因になりますので流さないでください。処理するときは凝固剤で固めたり、新聞紙を詰めたポリ袋や牛乳パックに捨てるなどして燃やせるゴミに出してください。

### 定期的に台所マスの清掃をお願いします。

台所マスに排水された調理油が溜まっていきます。放置されると排水管の詰まりや悪臭の原因、浄化槽への油が流れる事に繋がりますので定期的に清掃し、燃えるゴミとして処分をしてください。

### 使用後の漂白剤の処分について

- ・ 漬け置き洗いをされた後の漂白剤に関しては、草木への影響がない場所、また用水路等に排出されない場所がありましたら、庭などの土壌で処理をお願いします。

- ・ 上記の「カビ除去剤や漂白剤の使用にあたり注意点（塩素系/酸素系漂白剤）」をご参照ください。

---

## お風呂での注意点

---

### 入浴剤の使用について

イオウ温泉系の湯の華や入浴剤（硫黄化合物含有）は避けたほうが無難です。浄化槽内の菌・微生物を殺してしまい、浄化不良の原因となる場合があります。また使用の際は、着色があっても「濁り」がない入浴剤の使用をお願いいたします。

### カビ取り剤の使用について

上記の「カビ除去剤や漂白剤の使用にあたり注意点（塩素系/酸素系漂白剤）」をご参照ください。

---

## 洗濯での注意点

---

### 漂白剤の使用について

漂白剤（塩素系/酸素系/還元系）は使用を心がけて下さい。台所の漂白剤同様、多めの使用や高頻度での使用ですと浄化槽の菌・微生物に悪影響を及ぼすことがあります。また、衣服を傷める可能性もありますので、汚

れの強い場合にのみ使用させた方が良いかと思われま

す。また酸素系漂白剤は、ぬるま湯（40℃前後）でお洗濯や漬け置きされた方が汚れを落とす効果が高い場合が多いです。商品の使用方法をご確認ください。

### 使用後の漂白剤の処分について

- ・ 漬け置き洗いをされた後の漂白剤に関しては、草木への影響がない場所、また用水路等に排出されない場所がありましたら、庭などの土壌で処理をお願いします。
- ・ 上記の「カビ除去剤や漂白剤の使用にあたり注意点（塩素系/酸素系漂白剤）」をご参照ください。

### 柔軟剤の使用について

柔軟剤の成分である陽イオン界面活性剤は、殺菌作用が強いため、多く使用すると浄化槽の菌・カビ・微生物に悪影響を及ぼすことがあります。なるべく柔軟剤の使用は、週に2～3回にさせていただき、可能な限り使用回数・量を減らしてください。

また柔軟成分として、環境に優しい柔軟剤のベントナイトを含む「粉タイプ洗濯用洗剤」も市販されておりますので、お試してください。

### 洗剤は使用量を確認して適量の使用してください。

洗剤は、環境への負荷を減らすため、必要以上に使わないようにしましょう。また洗濯槽のカビ発生を防止すると記載のされている洗剤は殺菌力も強いいため、使用量・使用回数を少なくしてご利用ください。その他の洗剤や洗剤と同様に浄化槽の菌・微生物に悪影響を及ぼすことがあります。

### 洗濯槽クリーナー（洗剤）について

洗濯槽クリーナーは塩素系と酸素系の2種類がありますが、塩素系は殺菌作用が強いために、酸素系を低頻度で使用をお願いします。また酸素系の使用については、ぬるま湯（40℃前後）で洗剤された方が汚れを落とす効果が高い場合が多いです。商品の使用方法をご確認ください。

---

## その他の注意点

---

### パイプ洗浄や洗濯槽洗浄の頻度について

排水管のパイプ洗浄や洗濯槽の洗浄は、毎週や毎月ごとに使用するなどの予防的な使用はなるべくお控えください。殺菌作用が強いため、多く使用すると浄化槽の菌・微生物に悪影響を及ぼすことがあります。

### 髪染め（ヘアカラー）について

ご自宅にて髪染め（ヘアカラー）をされる場合は、使用後に髪に付いた髪染め液を、可能な限り紙や不要になったタオルなどで拭き取り、燃えるゴミとして処分してください。浄化槽内の菌・カビ・微生物を殺してしまい、浄化不良の原因となる場合があります。

## 糖尿病や過食症・拒食症の方が居られると、浄化槽に良くないと聞きましたが？

浄化槽ではご家族の方の中に、糖尿病や過食症・拒食症の方がいらっしゃると浄化槽の機能低下に関係する場合があります。保守点検の方法・頻度や清掃頻度などで対応した方が良い場合もありますので、ご心配な方はご相談ください。

## 重曹・除菌アルコールについて

重曹やアルコールが有効成分とされる除菌剤・スプレーなどは、浄化槽に影響を与える事が少ないので、通常の使用量であれば問題ありません。

## 薬品や酸性・アルカリ性の物を多くは流さないでください

下記の商品を多く流されますと浄化槽で処理が出来ず、浄化槽内の菌・カビ・微生物を殺したり、働きを弱めるため、浄化槽で水をキレイにすることが出来ず、支障をきたす恐れがありますのでご注意ください。

なお、通常の利用に関しては問題ございません。

- お酢・マウスウォッシュ . . . . . 不要になった物を1本そのまま排水するなどの場合
- クエン酸・セスキ炭酸ソーダ . . . . . お掃除で不要になった物を流したり、大量の使用（目安 300g/週当たり）
- 二酸化チオ尿素・ヒドロサルファイト . . . . . 浄化槽には流さないようにしてください
- 殺虫剤・薬品、不要になった洗剤・洗浄剤・消臭液・うがい薬 . . . . . 浄化槽には流さないようにしてください
- 入れ歯洗浄剤や、漬け置きタイプのコンタクトレンズ洗浄剤は、中和が完了してから排水ください

## 節水について

浄化槽は1人当たり200～250ℓの水の利用を想定して作られております。節水型のトイレやお風呂が増えておりますが、浄化槽に流れ込む水の量が少ない場合、洗剤が薄まらずに浄化槽内の菌・カビ・微生物に悪影響を及ぼすことがあります。過度な節水にはご注意ください。

## 浄化槽で処理できる水量の目安

浄化槽では一度に大量の水が流れ込んだり、1日当たりの水量を大きく超えて排水されますと、浄化不良の原因となりますのでご注意ください。

- 5人槽 1,000ℓ/日
- 7人槽 1,400ℓ/日
- 10人槽 2,000ℓ/日